

チタン材ふき替え受託

カナメ 浅草寺五重塔の屋根瓦

住宅用屋根材製造や寺社建築施工のカナメ(宇都宮市)は29日、浅草寺(東京・台東)の五重塔の屋根瓦をチタン材にふき替える工事を請け負ったと発表した。清水建設が手掛ける五重塔改修の一環で、2017年4月の完工を予定する。チタン材は瓦屋根の色合いを再現しながら軽量

で耐久性が高い。カナメは浅草寺の宝蔵門(07年)や本堂(10年)の屋根をチタン材にふき替えた実績があり、今回の五重塔の屋根改修の受注にもつながった。五重塔は19

73年の再建から43年がたち、既存のアルミ合金瓦にはさびやゆがみが生じているという。

屋根改修工事では約1554平方メートルの広さに約5万7千枚のチタン材「チタン カナメ段付本瓦葺(ぶ)き」を使う。

現在屋根を覆っている瓦を取り外した後、今秋にもチタン材へのふき替えを始める。従来本堂に使ったチタン材に比べ、配色を「いぶし瓦」に近づけるよう改良したという。